

市 川 市 長 村越祐民様
市川市教育委員会 田中教育長様

2021年4月20日
日本共産党市川浦安地区委員会
日本共産党市川市議団

新型コロナウイルス感染症対策に対する申し入れ

二度の延長を経て緊急事態宣言は解除されましたが、リバウンドどころか、本日から市川市も「まん延防止等重点措置」が発令されることになりました。全国規模での「第4波」といえる感染拡大を深く憂慮しています。

コロナ禍で「生理の貧困」が浮き彫りになってきました。この間、雇用状況が悪化し、収入が減少している家庭の児童・生徒や、アルバイトができずに生活が困窮する学生も増えています。都区内では、防災備蓄用の生理用品の無償配布が始まりました。本市でも、防災備蓄用の生理用品を他の備蓄品とセットにした「女性支援セット」を配布し、初日で配布終了、需要があるということです。健康で衛生的な生活を保障するために、さらなる対策を必要です。諸外国でも、スコットランドでは、あらゆる人に生理用品の無償提供が決まり、ニュージーランドも小中高で無償提供を行うとしています。フランスでは、大学の寮や保健施設に無償提供する機械を設置し、すべての学生への無償提供を目指しているということです。

今後のワクチン接種についても、混乱が生じています。そこで、あらゆる手立てを講じ、「第4波」を封じ込めるため、以下のことを要請します。

【要請事項】

- 1 「まん延防止等重点措置」の発令を受けて、どのような対策が必要なのか、本市の対策本部で議論し、市民への呼びかけをすること。
- 2 ワクチン接種等について、コールセンターを運営改善して、接種時期など正確な情報を市民に発信すること。
- 3 ネットでの検索ができない高齢者等を考慮した、きめ細やかな電話相談体制を構築すること。
- 4 65歳以上の基礎疾患のある人は、優先的にワクチン接種できるように配慮すること。
- 5 国や県に、医療機関への損失補填を行うよう要請すること。
- 6 商店や中小企業に対する対策を講じること。
- 7 市の責任で、困窮する若者をはじめ生理のある人に生理用品を無償配布すること。